

令和6年度白井市地域福祉計画策定等委員会第2回会議 会議録（概要）

- 1 開催日時 令和6年11月19日（火）午後3時から午後4時10分まで
- 2 開催場所 白井市役所東庁舎1階会議室101
- 3 出席者 松山委員（委員長）、市川委員、入江委員、岩崎委員、佐々木委員、佐山委員、白石委員、野田委員、松嶋委員、渡辺委員
- 4 欠席者 松本副委員長、岩田委員、島田委員、瀬嵐委員、徳重委員
- 5 事務局 金井福祉部長、内藤社会福祉課長、松本、河野
- 6 傍聴者 2人
- 7 議題

（1）白井市第3次地域福祉計画策定に係る「地域福祉に関するアンケート」について（公開）

その他

- （1）福祉関連団体等ヒアリング調査実施対象の候補団体について（公開）
- （2）第3回会議の開催について（公開）

8 議 事

○事務局 本日はお忙しいなか出席いただきましてありがとうございます。ただいまから白井市地域福祉計画策定等委員会第2回会議を開催いたします。初めに委員長より御挨拶をお願いいたします。マイクは、下にあるボタンを1度押していただくと緑色のランプが光ります。それでお話できるようになります。

○委員長 皆様こんにちは。お忙しいなか、お集まりいただきありがとうございます。今日は快晴で少し風が冷たく冬らしい感じがしますが、部屋はとても暖かく、議論で白熱していただけたらと思います。本日は、前回皆様からいただいた、アンケートについてのご意見をもとに、修正した内容について議論いただき、後半はヒアリングについての御提案もありますので、ご意見いただけたらと思います。本日はアンケートについて議論する最後の機会となっているため、忌憚のない御意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 説明が前後して申し訳ございません。本日各テーブルにマイクをご用意しておりますので、発言の際には御活用ください。マイクの使用に関しては、マイクの赤色のランプが光っていると思いますが、一番下のボタンを押していただくと緑色のランプが点灯するので、そのまま御発言ください。一番下のボタンを押して赤と緑のランプを切り替えて御発言をお願いいたします。本日は、瀬嵐委員、徳重委員、松本委員が所用のため欠席となります。出席の委員は12名と伺っております。委員の半数以上が出席されています。ほかの出席者として、前回と同じく市社会福祉協議会の事務局長にも出席いただいております。

す。そして今回より第3次地域福祉計画策定業務の委託業者である株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の担当者の方にも同席いただいております。自己紹介をお願いいたします。

○ジャパン総研 (自己紹介)

○事務局 会議に移る前に10月25日に開催した第1回会議を傍聴された方より意見書が提出されております。傍聴人の氏名及び住所を消して配布しております。御確認をお願いいたします。頂いた意見については、今後の審議会の参考とさせていただきます。それでは会議に移ります。本日の議題は公開とし、会議録作成にあたり内容を録音とさせていただきますが、御了承いただけますでしょうか。

[異議なし]

○事務局 それでは議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。委員長よろしくをお願いいたします。

○委員長 次第に沿って進めたいと思います。この前回会議の意見書は、意見書が出た場合に毎回配布されるものですか。

○事務局 そうです。内容によっては、すべて開示できない場合もございますが、今回の内容は特に配布にあたり問題ないと判断したため配布いたしました。

○委員長 承知いたしました。いろいろな会議に出席していますが、傍聴者からの意見書を拝見したのは初めてだったため確認いたしました。

○事務局 拘束力といったことは全くございませんので、参考としていただけたらと思います。よろしくをお願いいたします。

○委員長 建設的な御意見に関心を持たれたということで、引き続きよろしくをお願いいたします。

(1) 白井市第3次地域福祉計画策定に係る「地域福祉に関するアンケート」について

○委員長 それでは議題1です。(1) 白井市第3次地域福祉計画策定に係る「地域福祉に関するアンケート」について事務局から説明をお願いします。

○事務局 (資料1別紙「地域福祉に関するアンケート」について説明)

○委員長 皆様からの御意見等についての回答を踏まえたうえで、事務局でアンケートを修正いたしました。丁寧な説明をいただきましたので、皆様からご意見等あればお願いします。アンケート方法などについても何かあればお願いします。

○委員長 一つお聞きしたいです。アンケートを実施する際このような二次

元コードを付けたアンケートが多いと思いますが、白井市では他の行政計画でもこうした経験がありますか。

- 事務局　大体の計画づくり、アンケートでも紙とWEBを併用しています。
- 委員長　実際の回答率は、上がっていますか。割合的には紙の方が多いいかなありますか。いかがでしょうか。
- 事務局　正確な実態の割合はお答えできませんが、最近では、やはりWEBでの回答も増えてきているのは事実です。ただ、感触としては、まだ紙の方が回答数は多いのかなと思います。
- 委員長　まだ仮の段階ですが、このアンケートは1個ずつ答えないと進めないのですか。手で書かなくて良いため、比較的若い方も答えやすいと思います。これで回収率が上がるといいなと期待しています。
- 事務局　WEBでの回答については、答えたくない箇所があっても次へ進めるかたちになっていますので、全部埋まらないと答えられないといったことにはなっていないとご理解いただければと思います。
- 委員　締め切り日の話ですが、このアンケートが、年末から年始にかけての忙しい時期に実施されるので、回答率を上げるために期日を延ばすことはできないのでしょうか。
- 事務局　今回、今年度中にアンケートの集計分析を実施し、報告書までまとめて、次年度の計画策定の調査にするとといった関係で、2月中にはアンケートを含めた今年度の報告書をまとめないといけない予定です。逆算すると、1月の始めには調査票を集めないといけないスケジュールとなっています。よってこれ以上期限を延ばすことは難しいと考えています。今回初めてでもあり、急遽アンケートを実施することになり、スケジュールを詰めたという事情もあり、期間としては12月の2週目から1月6日ということで、年末年始をまたがってしまいますが、この期間がギリギリといった実態になっています。
- 委員　本当は、延ばせると良いのですが、致し方ないということで。せっかく取るのであれば、回収率が良くなればと思ったまでです。
- 事務局　アンケート期間については、委員の皆様からも意見をいただきました。改めて事務局と業者さんと日程について協議しましたが、後ろのスケジュールを延ばすのは難しいですが、「資料1」にアンケート発送が12月2日となっています。本日の会議で、頂いたご意見を改めて反映できるものについては、基本的にできるだけ反映させたいと考えています。それから確定させていただく予定です。その後もし変更するとすれば、発送の部分を1日、2日でも早くする努力はさせていただきたいと考えています。
- 委員長　ほかにご意見いかがでしょうか。もしお手元に届いたら、皆さんご回答いただけますでしょうか。かなりボリュームのあるアンケートですので、書き始めてみると続いていくので、皆様の立場から、

回答しやすくする工夫などあれば、アイディアをいただきたいと思います。アンケートについての広報や周知は、特にされないのですか。

○事務局 周知方法は、ホームページでの掲載を考えています。広報は、月1回のみの発行になってしまっているため間に合わないので、ホームページで周知を図っていきます。

○委員長 送るときには、どのような形態ですか。大きい封筒なのか、また鏡文などをつけますか。

○事務局 調査票の表紙が鏡文になっています。また、大きな封筒にアンケート調査票と返信用封筒を同封して発送します。

○委員長 「アンケートに回答することが、本市にとって良い方向に反映されるため、できるだけご協力をお願いします」といった内容が、最初に目に入って伝わると良いかと思います。そうすることで、自分達が、選ばれたとご理解いただき「答えなくては」といった気持ちになっていただけるよう、封筒などに工夫していただけると良いと思います。もし封筒に何か付け加えることが可能であれば、「ご協力をお願いします」といった文章を印刷することで、何か動機付けになるかもしれません。せめてお願いする時に答えてもらいやすくする工夫をしていただきたいと思います。ほかにご意見いかがですか。

○委 員 もう一度確認ですが、アンケートの返送は、この調査票をそのままですか。それとも回答用紙などがあって、その用紙のみの返送ですか。

○事務局 調査票に直接記入して返送いただきます。回答用紙を別に用意していません。

○委 員 郵送代も値上がりしていますし、回答用紙だけの返送でも良いのではと思いました。調査票が手元に残れば、アンケートが終わった後に、じっくりと見返すこともできますし、私は回答用紙に番号、記号を記入するだけで良いと思いました。

○事務局 ご意見について確認ですが、アンケートが手元に残った方が良いというご意見でしょうか。ご指摘のとおり、これだけのボリュームだと郵送代も若干違うかなと思います。委員の皆様も、回答用紙のみ返送して、調査票が手元に残るほうが良いとのご意見であれば、即答ができませんが、検討させていただきたいと考えています。

○委員長 事務局で検討いただけるとのことですが、いかがでしょうか。調査票へ直接記入する方法は、そのまま答えれば良いという答えやすさがあります。ただ、ご指摘のとおり手元に残らないのは確かです。例えば二次元コードでやるのであれば、期間限定でホームページに「関心のある市民の方はお答えください」といった言葉を添えて出す方法もあると思います。ただ、そうすると重複や市外の方でも回答できてしまうといったことが考えられます。

- 事務局 アンケートの内容については、ホームページに掲載する予定です。そのうえで回答用紙をつくって、回答用紙のみが良いといったご意見であれば検討したいと思うため、できれば委員会の方向性を統一でお伺いできればと思います。
- 委員長 市ではアンケート実施について、ホームページに載せて周知を図るのことでした。1,500 名の方に送って返送いただくとしても、ホームページを見れば振り返りができるといったお話でした。確かにホームページを確認しないといけないといった点があるとは思いますが、振り返りは可能といった状況です。
- 委員 ホームページで内容を見られるようにするということがあったのですが、調査票にその説明が一つも載っていません。
- 事務局 ご指摘のとおり説明文と、ホームページの二次元コードを追加する必要がありますと考えています。
- 委員 私は共通一次第一世代なので、マークシート方式で試験を受けた世代です。そうした世代が 60 歳代になっていて、それより上の世代はマークシートに慣れていないため書きにくいと感じるかもしれませんが、問題用紙と解答用紙が別になっている形式に慣れている世代が、たくさんいると思われるので、回答用紙だけで良いといった考えで発言しました。
- 委員長 マークシートといえば、確かに慣れ親しんだ形式ではあります。
- 委員 今のお話を伺って思ったのですが、もし私が回答する側だったら多分手元に残ったとしても、調査票を取っておかないで捨ててしまいます。ただ、調査票を集計されるときに 1 枚ずつめくるのと、回答用紙のみで集計するのでは手間が違ってくると考えていますが、いかがでしょうか。
- ジャパン総研 当社は、他の自治体さんでもアンケート調査を実施させていただいております。全部とはいきませんが、9 割ほどの調査で、直接記入の方式でやっております。よって集計・入力の作業などを御考慮いただいたの御意見ではありましたが、それについては、どちらでも問題ないです。慣れているのは、調査票を見ながらの集計の方かと思います。また、郵送料の関係でご心配いただいたかと思いますが、おそらく 10 月 1 日の郵送料の改定で 50g 以下は、同じ値段になります。よって回答用紙 1 枚でも、16 ページまでですと、おそらく 50g 以内に収まるので、料金は変わらないと考えています。回答用紙を御用意させていただく場合、マークシートを読み取る機械を持ち合わせていないため、数字を記入いただくことになると思います。そういった際に皆さんは数字を記入いただくのと、直接丸を付けるのとでは、どちらが回答しやすいですか。この部分での負担感についても御意見いただければと思います。

○委員 私の世代は、マークシートをやっていないです。先ほど「回答用紙に」と言われたときに、面倒だと思ってしまいました。料金のことなど伺うと回答用紙のみ返送が良いと思ったりしましたが、やはり直接書いた方が、高齢者にとっては楽だと思います。別の用紙だと、記入したか分かりにくくなってしまい手間が増えるので、混乱してしまうと思います。集計する側が、大変でなければ直接記入のほうが高齢者は楽です。

○委員 パソコンやスマホから回答する場合に、全て回答した後に結果をプリントアウトや PDF で手元に残すことは可能でしょうか。もしできるのであれば、手元に残したい方はパソコンやスマホから回答するよう誘導すれば良いと思います。確かに高齢の方で、スマホやパソコンに慣れていない方は、難しいかもしれませんが、例えば同居している方、お手伝いいただける方がいれば記録は残せるし、集計もしやすくなると思います。こういったことは可能でしょうか。

○ジャパン総研 自分の回答した内容を残せるかどうかといったご質問で大丈夫ですか。一応、送信する前に「回答結果」といって自分の回答一覧が表示されるようになっていきますので、その画面のスクリーンショットを撮っていただいて残すことは可能かと考えます。

○委員 今からプログラムを変えるは大変かと思うので、スクリーンショットに慣れている方でないとできないと思います。ただ、例えば「この画面をクリックすればデータが残ります」という 1 つの過程を送信の前に設けることができないかなと思い意見しました。

○ジャパン総研 システム担当に確認する必要があるため、一旦持ち帰らせていただきます。

○委員長 Google フォームでは、自分のメールアドレスを入力すると、自分のメールアドレスに返すことができます。学生にアンケートを取るときは、自分の回答をもう一度確認する意味で、自分のアドレスを登録させています。そうすると無記名ではなくなってしまいます。マークシート方式などの御意見がありましたが、アンケートを実施すると、どうしても回答するだけで良いといった考えになりがちですが、答える側にもいろいろな思いがあるため、もう一度たどれるような仕組みがあるかなど、ただ答えていただければ良いだけではなくて、答えていただく方のご事情を考えると、熱心に答えた内容に責任を持つということにもなります。今回は難しいかもしれませんが、頂いたご意見踏まえて、少しでも回答された方がたどれるような、また届いてない方にも、どんなアンケートが届いているのかを知らせることは、計画をつくるうえで、市民に関心を持っていただく意味では大事です。情報公開の仕方については研究していただければと思います。

○委員長 一つだけ気になったのが6ページの問18です。結構デリケートな問題だと思います。「あなたがお住まいの小学校区で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことはありますか。」の選択肢に「ごみ屋敷」という言葉がありますが、最近では、ごみ屋敷ではなくて「もの屋敷」を使っていたと思います。

○委員 ごみではなくて「もの屋敷」です。

○委員長 「ごみ」と書いてしまうと該当する方たちにとっては「もの」だったりします。また、ご自身でも認識されている方もいるので、ダイレクトに表現すると分かりやすいですが、当事者の方が見たときの印象を考えると「大量のもの」といった表現で伝えられませんか。

○事務局 「大量のものがある」で良いでしょうか。

○委員長 あえてここは「ごみ」ではなく「もの」としていただければ良いと思います。

○事務局 分かりました。

○委員長 ほかに御意見いかがでしょうか。皆様からたくさん御意見いただいていて、だいぶ答えやすくなったかと思います。たくさんのこと聞かれるので「なんでこれが聞かれるのだろう」というのもあると思うので、そのあたりの説明も丁寧にしていただければと思います。皆様の御意見と事務局の修正により、これからより良くなっていくと思います。

○委員 気が付いたのですが、6ページの問18、回答（選択肢）の8番でヤングケアラーについて「未成年の子どもが親や兄弟姉妹を介護し」とありますが、ヤングケアラーは「介護」だけに限らないと思っています。よって「世話をし」という表現にしてはいかがですか。

○委員長 小さい兄弟をお世話している方もヤングケアラーです。これは表現を変更しても問題ないですか。

○事務局 問題ありません。

○委員 送付の際、封筒はいつもの水色の「白井市役所」と印字された封筒に入れるのですか。日常生活でよくあるのですが、アンケートを契約している会社、代行業者から送られて気づかないことが良くあります。市役所と書いてあれば良いですが、そうでないと分からないと思います。「資料1別紙」にある「地域福祉に関するアンケート」が1ページですか。これだと市長の名前があるので、安心すると思います。また、下部に「お問い合わせ先 白井市役所」と書いてあるので安心だと思います。これが別の会社だと疑われたりする可能性があるもので、よろしくお願いします。

○事務局 アンケートは、皆様にお配りしているままでお手元に届くとご理解いただければと思います。封筒は茶封筒になる予定ですが「白井市役所」と大きく印刷して郵送する予定です。

○委員長 確かにいろいろな詐欺などの例がありますので、よろしくお願いします。

いたします。アンケートについては、庁内検討会で御検討をお願いいたします。アンケートについては、以上とさせていただきます。

その他

(1) 福祉関連団体等ヒアリング調査実施対象の候補団体について

○事務局 (資料2「福祉関連団体等ヒアリング調査 実施対象候補団体(案)」について説明)

○委員長 ヒアリングに関して60団体に調査を依頼し、20団体に絞って直接行うということでした。実施時期はいつ頃でしたか。

○事務局 12月頃にアンケートの配布、1月に20団体に絞って直接ヒアリングを行う予定で考えています。

○委員長 どなたが実施されますか。

○事務局 事務局と業者です。

○委員長 インタビューガイド的なものを作る予定ですか。

○事務局 お示ししておりませんが、調査シートを用意して実施し、更に深掘りしていくイメージです。

○委員長 市民アンケートとは異なり団体アンケートは、各団体に対して個別に深掘りしていくのが目的で行います。そういった意味では、何を質問するかも重要になりますし、どれぐらいの時間を使って実施するのも結構重要になります。例えば、民協の会議終わりにやることもありますが、時間や日程等の調整が大変だと思います。20団体を事務局で回していくのは、結構大変だという気がしています。実施についていろいろとご検討いただけたらと思いますが、皆様から配慮していただきたいこと、アイディアなどあればお願いします。

○事務局 少し補足をさせていただくと、アンケートというと市民調査のようなものを思い浮かべるかもしれませんが、ヒアリングシートのようなもので実施します。活動状況や課題などを約10問程度お伺いして、事務局で拝見し、検討した後で大体20団体に絞っていきます。その20団体についても1団体ずつではなく、活動団内容が同じなどのグループに分けて実施させていただく予定です。

○委員長 補足ありがとうございます。似たような団体でしたら、いっしょに集まって、各団体から複数名出いただくなど調整もできるかと思います。その点については、御検討をお願いします。商工会議所などは入っていないのですか。本市に青年会議所は、ないですか。

○事務局 商工会はありますが、青年会はないです。

○委員長 最近地域で商工会議所の青年部などが、防災やまちづくりで活躍されています。まちづくりという観点から、地域の若手の声も、いかがかなと思いました。また、4月にワークショップも実施予定ですので、中高校生からの意見も聞けたらと思います。こども計画ではないですが、10年計画なので、学校を通じて子どもたちから意見を聞く

機会を設けられたら良いかと思いました。ヒアリングの対象者ではないかもしれませんが。

○委員長 他になれば、その他の（２）第３回会議の開催について、事務局よりお願いします。

（２）第３回会議の開催について

○事務局 第３回会議の日程についてです。来年の令和７年３月上旬頃の開催予定です。内容は、今後実施するアンケート調査、福祉関連団体へのヒアリング等の各種調査結果の報告を予定しています。具体的な日程については、事務局でいくつか候補日を決めて、委員の皆様に表示し、ご都合をお伺いして決めたいと考えています。１２～１月頃に日程調整を行いたいと思います。後日、日程調査票等をお送りする予定です。御回答お願いいたします。

○委員長 次回会議は３月上旬予定で、日程調整のご連絡があるということです。御協力をお願いします。かなりタイトなスケジュールになりますが、よろしくお願いします。委員の皆様から御意見いかがですか。

○委員 アンケート結果は公表されるのですか。

○事務局 ホームページで公開予定です。

○委員 いつ頃になりますか。

○事務局 ３月の会議で報告してからとなりますので、会議終了後に公開予定で考えています。

○委員長 それでもかなりスピーディなスケジュールかと思います。ワークショップも４月、５月に予定されています。おそらくその時には、アンケート結果を踏まえた骨子案も出てきて、アンケート結果を全部でなくても公表していく形になり、また良い案が出てくると思います。是非、そのあたりも依頼するからにはフィードバックを明確にさせていただけると信頼性が高まると思います。

○事務局 念のためアンケートの内容について最終的な確認をさせていただきます。ご意見として１点目が、表紙にアンケート自体が、ホームページに掲載されていること、リンク先となる二次元コードも追加するのご意見。２点目が、封筒にも「アンケートに御協力ください」といった周知をするといったご意見。３点目が、アンケート内容の６ページ問１８の選択肢１「ごみ」を「もの」に変更、それから選択肢８の「介護」を「お世話」といった表現に変更します。最後に４点目として改めて確認させていただきたいのが、回答用紙とするか、直接回答とするかは、直接回答という委員会の結論でよろしいでしょうか。

○委員長 はい、今回はそれでお願いします。

○事務局 承知しました。本日いただいた意見の確認について漏れがありま

したら御連絡ください。

○委員長 いかがでしょうか。丁寧に進めていただけるアンケートだと思うので、是非目標回収率 60%を目指したいところですが、40%くらい返ってくると良いと思っておりますので、是非よろしくお願いいたします。

○事務局 それではこれをもちまして、白井市地域福祉計画策定等委員会第2回会議を終了いたします。皆様お疲れ様でした。

使用した資料

- ① 資料1 「地域福祉に関するアンケート」について
- ② 資料1 別紙 地域福祉に関するアンケート調査票
- ③ 資料2 福祉関連団体等ヒアリング調査 実施対象候補団体（案）
- ④ 参考資料1 地域福祉に関するアンケート調査票に係る意見（地域福祉計画策定等委員会）
- ⑤ 参考資料2 地域福祉に関するアンケート調査票に係る意見（11/8 庁内等検討委員会）